

「石山・東石山地域実行計画」の検討の進め方

ワークショップと地域別の「実行計画」の関係

■はじめに

本市では平成27年7月に「新潟市財産経営推進計画（公共施設マネジメント編）」を策定し、約280万㎡に及ぶ公共施設の将来更新費用の大幅な増加を踏まえ、サービス機能をできるだけ維持しながら、公共施設の総量削減（ハード・ソフト費用の削減、ニーズに合った規模の更新、集約化や多機能化による見直しと、未利用地の原則売却）を行うこととし、中学校区を基本単位とした地域ごとに、地域のみなさんと協働で、身近な施設の最適化に向け、将来のあり方を示す地域別の「実行計画」の策定を進めてきました。

また、令和元年12月には、「新潟市公共施設の種類ごとの配置方針」※を策定し、市の公共施設の配置について、利用圏域（全市・区・概ね中学校区の地域の3圏域）と提供するサービス（地域の小規模な貸館などの17分類）に着目し、基本的考え方を整理しました。

この方針では、中学校区の地域を利用圏域とする施設の再配置にあたり、地域のみなさんのご意見をお聴きした上で、地域の現状にあった実行計画を策定することとしています。

この度、石山・東石山地域では、地域の活動拠点となる石山地区センターが大規模な改修の目安となる築40年を超え、地域の公共施設が果たしている役割を改めて見直し、今後の公共施設のあり方について検討する時期がきています。また、越後石山駅周辺の整備が進められている中で、駅前の様子がこれから大きく変わる予定です。まちの様子が変わる機会に併せて、周辺の公共施設のあり方とまちづくりの方向性を地域のみなさんと話し合いながら、よりよい地域のまちづくりを進めたいと考えています。

本日のワークショップは、地域のみなさんと市の協働による計画づくりを実現するための重要な機会のひとつであり、ワークショップなどで得られたみなさんのご意見をもとに市が検討を行い、「石山・東石山地域実行計画」を策定します。

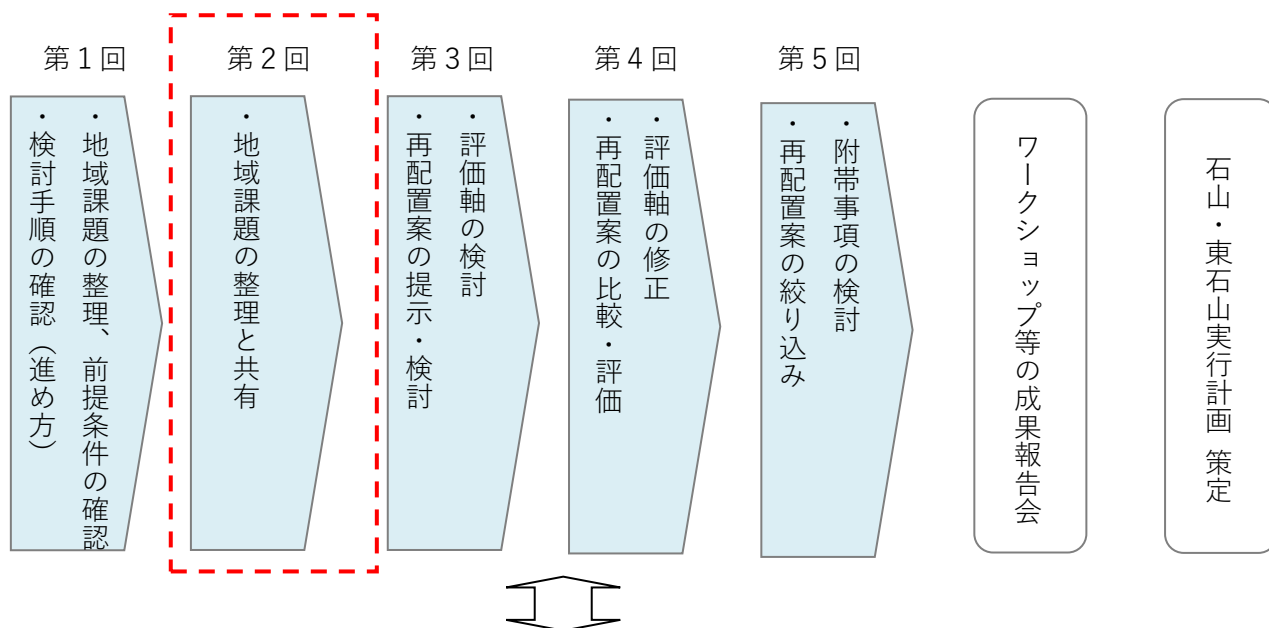
※「新潟市公共施設の種類ごとの配置方針」については、各テーブルに設置しています。

また、市ホームページ（右の二次元コード）からもご覧いただけます。



■地域別実行計画の検討内容と手順

市は、ワークショップを始めとする石山・東石山地域のみなさんとのコミュニケーションで得られた成果をもとに、次の5つのステップに分けて検討を行い、「石山・東石山地域実行計画」を策定します。



ワークショップの期間を通じて、石山・東石山地域のみなさんとコミュニケーション（広報紙の配布、パネル展示型説明会の開催、施設利用者への意見聴取 など）

○地域のみなさんと市が協働で行う作業

- | | |
|------------|---------------------------|
| 検討手順の確認 | ：はじめにワークショップの進め方を考えます。 |
| 地域課題の整理・共有 | ：石山・東石山地域の公共施設の課題を整理します。 |
| 再配置案の検討 | ：将来にわたり実現可能な再配置案を複数検討します。 |
| 評価軸の検討 | ：再配置案をどのような視点で評価するか検討します。 |
| 再配置案の絞り込み | ：再配置案を比較・評価し、再配置案を絞り込みます。 |
| 附帯事項の検討 | ：再配置を進めるうえで配慮すべき事項を整理します。 |



これらを基に市が石山・東石山地域実行計画を策定します。

■ワークショップの進め方

令和5年2月に各コミュニティ協議会のご協力のもと、地域別実行計画の進め方について事前のヒアリングを行いました。ヒアリングの結果から、ワークショップの進行にあたって、下記に示す意見に配慮する必要があることが見えてきました。

そこで、本地域では次のような方針で検討したいと考えています。

【意見①】ワークショップの有効性や進め方に対する不安

→ワークショップを通じて地域課題や施設の利用状況など議論を深めた上で実現可能な施設再編を検討します。

【意見②】コミュニティ協議会ごとに施設への関わり方の違い

→コミュニティ協議会ごとでの議論の場と地域全体での議論の場を設け、課題を地域全体で共有します。

【意見③】石山・東石山の地域外の施設利用者への対応

→施設利用者などに個別ヒアリングを行うなど、**地域や年齢による**偏りのない多様な意見を幅広く収集し、地域のみなさんへ情報提供を図ります。

○ワークショップの進め方のイメージ

| 参加者 | | | 石山地域 | | | 東石山地域 | |
|-----------------------|----------|----------|---------------|---------------|------|-------|--|
| | 第1回目 | 第2回目 | 第3回目 | 第4回目 | 第5回目 | | |
| 江南小学校区 (江南コミ協) | 江南グループ | 江南グループ | 4グループに 再編成 | 同左 | 同左 | | |
| 中野山小学校区 (中野山コミ協) | 中野山グループ | 中野山グループ | | | | | |
| 南中野山小学校区 (南中野山コミ協) | 南中野山グループ | 南中野山グループ | | | | | |
| 東中野山小学校区 (東中野山コミ協) | 東中野山グループ | 東中野山グループ | | | | | |
| 様々な地域や年代の 施設利用者 | 個別ヒアリング | | | パネル展示型 説明会 | | | |

- ・第1～2回目までは小学校区ごとに地域課題を議論し、参加者みなさんで内容を共有します。
- ・第3回目以降のワークショップは地区の区別なく、**全体で議論**を深めていきます。
- ・個別ヒアリングやパネル展示型説明会などでワークショップ参加者以外の方のご意見を伺います。

■地域のみなさんとのコミュニケーション

「石山・東石山地域実行計画」の検討では、地域のみなさんとさまざまなコミュニケーションを進めていきます。

ワークショップ (WS)

ステップごとの検討内容について、ご参加のみなさんの間でグループ討議によりご議論いただき、その成果をとりまとめます。

広報紙 (NL)

ワークショップや市の検討の状況を地域のみなさんにお伝えするための広報紙です。

パネル展示型説明会 (OH: オープンハウス)

検討の状況を示したパネルを地域の施設に展示し、地域のみなさんにお伝えします。

コミュニティ会議

施設利用者や利用団体の方へ個別にご意見を伺います。

■ワークショップの概要

- ・概ね3か月おきに計5回開催のワークショップを実施する予定です。
 - 第1回：令和6年3月2日（土）、第2回：令和6年6月8日（土）、
 - 第3回：令和6年9月7日（土）、第4回：令和6年12月7日（土）、
 - 第5回：令和7年3月1日（土）
- ・会場は石山地区公民館（4階 ホール）を利用します。
- ・東区役所地域課と財務部財産活用課で事務局を担当します。
- ・ワークショップの参加者は、各コミュニティ協議会から推薦を受けた方のほか、公募によりご参加いただいています。
- ・同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ・各グループでの議論は、ファシリテーターの進行のもと、参加者のみなさんにグループ討議で自由にご議論いただきます。
- ・一般の傍聴者や報道関係者がワークショップを傍聴する場合があります。



■ワークショップの成果

- ・各回の成果は記録として残し、石山・東石山地域の全戸に配布する広報紙で発言者が特定されないように配慮しながらお知らせします。
- ・ワークショップの最終回までの成果をまとめあげ、後日報告会を開催し、地域のみなさんにご報告します。
- ・まとめ上げた成果は市が「石山・東石山地域実行計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

■グループ討議の進行

- ・グループ討議の運営は、円滑な議論を行うため、第三者的立場のファシリテーター（司会進行）がお手伝いします。
- ・ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回の最後に各グループの議論の結果をファシリテーターがまとめて発表し、後日、成果を取りまとめます。
- ・グループ討議の途中での議論は、発言者を特定する形での記録は取りませんので、自由闊達(かたつ)で、前向きな議論をお願いします。
- ・市に対する要望や陳情の場ではありません。
(管理上の都合から会場内で録音・撮影する場合がありますことをご了承ください。)

■ファシリテーターのご紹介

- ・みなさんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。よろしくお願いします。

オフィスキュア 篠田 さやか

有限会社まち処計画室 小口 優子

特定非営利活動法人 aisa 宮 沙織

特定非営利活動法人 aisa 増田 望未

■ワークショップの参加にあたっての留意事項

- ・話し合いに積極的に参加しましょう
- ・自分の考えを率直に述べましょう
- ・前向きな思考で発言しましょう
- ・評論家ではなく当事者として関わりましょう
- ・他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- ・気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- ・議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう